

マレーシア 海外語学研修 2 クラス

学生氏名	中原 由紀子さん
所属学部	都市経営学部 都市経営学科
参加学年	3 年次
滞在期間	2024 年 8 月 18 日～29 日
滞在方法	ホテル



マレーシアでの学び

マレーシア・イスラム科学大学は、マレーシア政府が全額出資する新興のイスラム系大学です。学部生 11,327 人、大学院生 1,666 人、留学生 648 人がいます。敷地面積は広大で、自然に囲まれ、学生生活を送るための様々な施設が充実しています。

8 月 19 日、いよいよ研修一日目。セミフォーマルの服装で集まり、学内のセレモニー会場で学長挨拶、マレーシアの紹介などがありました。そして国歌「セジャトラ・マレーシア」を習い合唱しました。

この研修期間中に、私たちはいろいろな場所・場面でこの歌を合唱し、マレーシアの人々の平和と繁栄を願う強い気持ちにたびたびふれることになりました。

滞在中の 10 日間、さまざまな座学と野外活動で、英語・マレーシア文化を学びました。グループで考え発表する学習形態では、バディーたちがサポートしてくれました。

滞在中は、観光以外はすべて手作りの食事を校内で用意して下さいました。その内容や味付けは、日々私たちの口に合うように変化していきました。学内でも外出先でも常にミネラルウォーターの補充もして下さいました。その心遣いに感謝しました。



私たちと同じ時期に、インドネシアやタイの高校生も研修に来ていました。彼らは英語をとて流暢に話します。彼らのプレゼンテーションと即興パフォーマンスを見学しました。他のグループが発表するときは、大きな声で声援します。日本人が一番苦手とする行為です。彼らの相手に対する思いやりを素晴らしいと感じました。また、マレーシアの伝統ゲームを教えてもらい楽しみました。昔のマレーシアの各地域での娯楽文化に触れることができました。

Butik Roti Maria という川沿いの植物園も訪れました。3世代にわたる親子で運営されています。マレーシアならではの農業観光の教育施設です。訪問者に自然体験を提供するように設計されています。熱帯雨林の庭園には70種類の果樹が実っていました。小川で遊び、みんなで料理をしてランチをしました。素晴らしい家族とのふれあいと、自然の癒しの時間を体験できました。



フィールドトリップでは、大学と同じ州にある、ミュージアム・ヌグリ・スンピランで、マレーシアの伝統建築・文化・生活・音楽を見学しました。私たちはお礼にセジャトラ・マレーシアを合唱しました。

マレーシアの見どころのひとつがクアラルンプールからバスで20分の、プトラジャヤ湖畔にある「ピンクモスク」です。アラベスク模様のドーム、室内の絨毯すべてがピンク色で、ため息が出るほどの美しさです。一度に15000人が礼拝できます。イスラム教はキリスト教に次ぐ世界第2位の信者数 約19億人を誇っています。マレーシアの人口の61%がイスラム教徒です。礼拝は1日5回義務付けられています。様々な場所、学校、ショッピングセンターにも礼拝所があります。就寝時間以外のほとんどの時間をバディーたちと過ごしましたが、その習慣が破られることは1度もありませんでした。断食はイスラム暦の9月に約1ヶ月間行われます。貧しい人々のために1年間で貯蓄できた中から喜捨も行います。食事は豚肉・お酒は禁止、服装は男女ともに体の露出を少なくし、女性はヒジャブというストールのような美しい大きな布で頭髪を隠します。人差し指で、ゆびさすことは失礼で親指を使います。頭は神聖な部分なので、相手が子供でも触ってはいけません。



インドネシアの学生と共に閉会式を行いました。私たちのグループは、日本文化を紹介する茶道のデモンストレーションを行いました。他のグループは書道を披露したり、ソーランブシを踊り、

会場を盛り上げました。見学者の皆さんも、とても積極的に参加して下さいました。最後に、ゾライダ教授からのご挨拶と一人一人に終了証書をいただきました。そしてこのセレモニーは「スタンド・バイ・ミー」の大合唱で幕を閉じました。感謝の気持ちでいっぱいになりました。



今回のマレーシアでのプログラムでは、多民族、他文化、宗教、等多くの事学びました。しかし私が一番学んだものは、心からのホスピタリティーです。12日間のマレーシア滞在中、学内だけでなく、様々な場所で私たちはホスピタリティーを体験しました。しかしそれが可能となったのは現地の皆様の綿密な準備と心からの配慮があったからでした。

短い期間でしたがマレーシアの文化を学ぶ中で、様々な人々と出会い理解しあう努力をしたことは、これからの私自身の生き方をお互いに助け合って進んでいくものに変えていきました。何よりも、世界の人々と理解し合うツールとしての英会話の必要性を実感した研修となりました。

貴重な機会をありがとうございました。

